

生活圏には 通過車両はノー

◆道路整備について

問 高出の国道緑ヶ丘南交差点西側の市道で朝夕に渋滞が発生するため、多くの車が脇道の通学路などに入ってきて、危険だと指摘されている。これを回避するため交差点に右折レーンを設けることができないか。

答 国道19号の拡幅工事も考慮し、暫定改良を含めて検討していく。

◆塩尻駅北土地区画整理事業について

問 区画整理事業による住民増を見越した桔梗小学校と広陵中学校の通学区等の見直しが必要と思うがどうか。

答 教室の不足が見込まれており、7月に関係地区の区長と学校長、PTA会長と意見交換を始めている。

◆農業委員会法の改正点について

問 農業委員の選出方法について、法改正による農業委員の選出方法の改正点は。

答 従来の選挙制と市長選任



牧野 直樹
(新政会)

制の併用から市長の任命制に変更されたこと。また、新たに「農地利用最適化の推進」に専念する「農地利用最適化推進委員」を設置することなどである。



混雑する緑ヶ丘南交差点

より開かれた議会を目指して

第8回議会報告会

「地域づくりを考える」を開催

議会基本条例推進委員会

6月から8月にかけて、楢川・北小野・片丘・高出・大門の各地区で議会報告会を開催しました。雨水対策、福祉・教育問題、国道や都市計画道路、地域コミュニティなどをテーマに、白熱した意見交換が行われました。

地域の課題について議員全員が共有することにより、定例会での「議場の雰囲気」が変わったと感じます。

一般質問では、議会報告会で扱われた課題の部分になると、全議員が問題を共有しているだけに、質問に大きく頷いたり、答弁に対し「固唾を呑む姿」や、時には「苦笑・失笑」、やじとまではいかない「ざわつき」が起こります。市長をはじめ理事者たちは、答弁もさることながら、この「議員の反応」にも注目しています。

住民の皆さんの熱意をいかに表現するか、議員の力量が試されます。そして、議会報告会にお越しいただいた皆さんが傍聴に来られると、議場

は議員も理事者も、より緊張感のあるやりとりが生まれますので、是非傍聴にお出かけください。

9月定例会では、北小野地区でテーマとなった国道対策について、「一般国道153号両小野バイパスの早期事業化に関する請願」が提出され、全会一致で採択となり、意見書を提出することになりました。



大門地区での議会報告会の様子